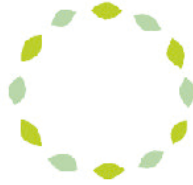


1

月号

ひだまり

わかくさこども園



2023.1.4



本物を見に行く

(2022.12.15)

「きゅーきゅーしゃー！」

『はたらくくるま』の元気な歌声が、こむぎの部屋からよく聞こえてきます。

特に男の子たちは、救急車や消防車が大好き。

じゃあ、本物を見に行ってみよう！という話になりました。

最近体力も付いてきたので、あっという間に駅前の消防署へ。

隊員の人も出てきてくれて、救急車の近くまで行かせてもらいました。

子どもたちの黄色い歓声が聞けると思いきや、あまりの迫力に泣き出す子も。

忘れられない、本物デビューの日になりました。



1月の予定

【幼稚園・午前保育】

10日（火）

10日（火）始業の日

12日（木）避難訓練

16日（月）～27日（金）希望者個人面談

なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



今年もよろしくお祈いします

2023年、新しい年が始まりました。お正月はご家族で、ゆっくり過ごせましたでしょうか。

今回は、新しい園になって初めて迎える年越しとなりました。6日間の休園というのは、こども園にとっては1年の中で一番長い休みです。年末は先生たちと、普段はなかなかできない細かい所の掃除をしたり、来年の準備をしたりと、師走ならではのバタバタ感を味わいながら過ごしていたように思います。

さて、1月は3学期の始まりの月でもあります。1月から3月までと、期間的には短いですが、それぞれの学年で育ちや学びを締めくくる大事な時期であり、次の新年度を迎えるのための助走期間でもあります。

乳児で言えば、ゆずは（2歳クラス）の子どもたちが、来年度はいよいよ幼児に上がります。生活の場所が慣れ親しんだ乳児側から幼児側に変わり、3歳から入園してくる幼稚園の友だちとの新しい出会いもあるので、進級組の中では一番環境の変化が大きいかもしれません。

そんなゆずはの子どもたちが、なるべく戸惑わず、楽しみな気持ちで新年度をスタートできるよう、先生たちも考え始めています。幼児の活動と一緒に入ってみたり、実際に幼児の部屋で過ごしてみたりと、3学

期の間には幼児クラスの雰囲気にも少しでも慣れていきたいと計画しています。

そして幼児では、みそらの子どもたちが最終学期になります。この時期の年長さんは、みんな小学校のことを気にし始めるのでワクワクそわそわ。5歳児は、就学を意識した集団活動を園生活の中に取り入れていく学年ですが、3学期は今までやってきたことも一つ一つ確認しながら進みます。

何より、今まで一緒に過ごしてきた友だちと遊べるのもあと少し。楽しいことがいっぱい3ヶ月間になればいいなと思っています。

保育園の子どもたちはすでに登園が始まっていますが、幼稚園はいよいよ来週からスタートですね。みんなの顔が見れることを、こども園で楽しみに待っています。



園の草花で作ったお正月飾り（ゆみ先生作）



コロナのこと

コロナ禍が続いています。夏の第7波以降、少し落ち着いたようにも思いましたが、冬には第8波が起き、感染者数の全国的な増加がありました。園でも幼児で流行があり、クリスマス会が中止になるなど、保護者のみなさんにもご心配をおかけしました。市内の他の園や小中学校でも感染者が多く出ていると聞いており、不安な12月を過ごされた方もいらっしゃるかもしれません。

園では、今年度から乳児の受け入れが始まり、衛生管理の面ではより厳しい基準で運営をしています。コロナについても、厚労省から出ているガイドラインに則り、消毒や清掃等、基本的な対策を日々行なっています。

一方で、コロナが出てきて4年が経ち、国の考え方や対応もどんどん変わってきています。昨夏には、保護者のみなさんの就労支援の観点から、園で陽性者が出た場合でも休園せず、濃厚接触者を特定しないという方針が市から打ち出されました。また秋には、学校教育を管轄する文科省から、幼児期にしかできない集団経験を適切に保障していくため、行事の開催等、場面に応じて感染対策を緩和して対応すべきとの通達も出ています。

刻々と変化する感染状況と国の方針に、園としてどう対応していくか。それはコロナ禍が始まって以来、いつも先生たちと議論し、頭を悩ませていることの一つです。

こども園は子どものいのちを預かる施設です。第一義として、子どもの健康を心身ともに守らなければならないということは、言うまでもありません。加えて、園は保護者の方やご家族、先生たちなど、子どもに関わる多くの人たちが共存している場所でもあります。子育て中の方やお仕事をされている方、自身や家族に重篤な基礎疾患を持っている方など、さまざまな立場や状況の方がいらっしゃるということは、忘れてはいけないと思っています。

コロナ禍で「子どもたちにもっといろいろなことを経験させてあげたいのに」というもどかしい思いを持っているのは、保護者の方も先生たちも一緒です。感染リスクを少しでも下げながら、今しかできない遊びや友だちと関われる工夫を、これまでのやり方に捉われず、柔軟に考えていく必要があると感じています。

感染状況は今後落ち着いてくるとの発表もありましたが、これまでのウイルスの変異状況等を考えると、それも定かとは言えません。園も引き続き社会状況を注視しながら、できる限りの対応ができるよう、先生たちと考えていきたいと思っています。今年も変化の多い一年になるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひします。

2023年はぴょんぴょん跳ねる卯の年。子どもたちにとって、実り多き飛躍の年になりますように。





お知らせ



※冬休み中のため、今月の「ふおとこーなー」はお休みです。



連載コラム



こども園たんけんたい



最終回「子育て相談室」

幼稚園の時もしていた「地域子育て相談会」を、今年度も月に1度開いています。その時に使うのが職員室の隣の「子育て相談室」で、乳児も受け入れられるよう、調乳室を備えています。

相談会といっても、おもに、保育園や幼稚園に通われていない地域の子育て家庭に親子で来てもらい、子どものことを話したり子どもと遊んだりして園の雰囲気を知ってもらう、ゆるやかな場です。中には、子育て中の友だちや知り合いが周りに少ないと話すお母さんもいて、相談会を通じて友だちができたり、少しでも気分転換になったりしたらいいなと思っています。

「孤育て」という言葉が出てきて久しいですが、コロナ禍に入り、その傾向は加速しているようにも見えます。地域の子育て支援施設の一つとして、私たちにできることを、これからも考えていきたいと思っています。

*連載コラム「こども園たんけんたい」は今月でおしまいです。読んでいただき、ありがとうございました。

保健だより

冬休みは楽しく過ごせましたでしょうか。これからの季節は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されています。園でも年末はコロナに感染したご家庭が多く、保護者の皆さまにはご心配をおかけしたことと思います。

園のしおりにもありますが、登園の目安を再度確認させていただきます。体調不良時は、以下の場合や感染性の可能性がある場合は登園を控えていただいています。睡眠や食事がしっかりとれており、集団生活が可能な状態であることが登園の目安です。

○発熱

- ・24時間以内に37.5℃以上の熱が出ていた
(現在コロナ禍のため、37.5℃が基準です。また、解熱剤を服用しての登園はできません)

○下痢

- ・24時間以内に2回以上の水様便がある
- ・食事や水分を摂ると下痢がある(1日に4回以上の下痢)
- ・下痢に伴い、いつもより体温が高めである

○嘔吐

- ・24時間以内に2回以上の嘔吐がある
- ・嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである

○咳

- ・前日に発熱がなうても、夜間しばしば咳のために起きる
- ・ゼイゼイとする呼吸音や呼吸困難がある

○その他

発疹、目やに、目が赤い、下痢がひどいとき

※上記はあくまでも目安であり、感染流行や個々の状況に合わせて対応いたします。

また、風邪薬等を内服して登園することもあるかと思いますが、誤飲事故防止のため、園では原則薬をお預かりしていません。朝夕の2回処方にしてもらう等医師にご相談いただくか、ご家庭で内服できるように調整をお願いします。



看護師・藤井 佑季



1月 保健の予定

- | | | |
|--------|---------|------|
| 17日(火) | ふじ・みそら | 身体測定 |
| 18日(水) | ももはな | 身体測定 |
| 19日(木) | こむぎ・ゆずは | 身体測定 |

わかかさこども園

wakakusa kodomoen